

中部地区の社会教育をつなぐ、ひろげる

# わくわく中部



中部教育局社会教育担当だより平成 27 年 12 月 8 日発行

## 12月の主な行事予定

12月 8日(火)

全県社会教育関係者研修会 (倉吉体育文化会館)

12月18日(金)

第9回倉吉市公民館研究大会 (倉吉交流プラザ)

### 特集

湯梨浜町を中心に様々な社会教育活動をされているホエホエ隊の新勝彦さんが、松山市で開催された全国おやしサミットに参加されました。全国のおやしたちの熱すぎる活動報告です。2ページに渡って特集します。



### 第13回全国おやしサミット in 愛媛大会に参加して ～松山珍道中～



ホエホエ隊 お世話係 新 勝彦

11月22日(日)、第8回姫路大会から5年ぶりとなる全国大会へ参加。久しぶりに恋人にでも会いに行くような気持ちと新たな出会いを求めて胸躍る気持ちで、熱い熱いおやし達との再会を楽しみに松山市青少年センターへ向かいました。



会場に到着した時には、もうオープニングイベントが終盤を迎えていました。鳥取県から参加している福米東おやじの会、賀露おやじの会と合流し全体会会場へ。

全体会(基調講演)は正岡子規生誕の地らしく俳句がテーマ。夏井いつきさんの句会ライブ「今日からあなたも俳人です」がありました。巧妙なトークで全国のおやし達は完全に夏井さんの虜になりました。

俳句初挑戦の私でしたが、「松山の チンチン電車 冬うらら」が夏井先生から褒められ、天にも昇る気持ちになりました。参加者全員で手を挙げて決めた最優秀の句は、おやしではなく、なんと来賓で参加されていた愛媛県生涯学習課課長 上城戸課長さん(女性)でした。「やっと会えた 小さな命 冬りんご」。夏井先生から「全国おやしサミットに参加しているおやし達は、以外とピュアね」とジョーク交じりでいじられてしまう有様でした。上城戸課長さんは、今年の全国公民館研究大会で鳥取に来られたそうです。

大盛況の中で全体会が終了。次は3分科会に分かれてさらに研修を深めました。私が参加したのは第2分科会。この分科会は、『人間牧場』主がおやし達を斬る～一生社



会貢献できる人材〜』と題して、人間牧場主の若松進一さんが講演されました。水産高校卒業後、漁師を7年間され、30才で「アメリカへ行く!!」という夢をもたれたそうです。けどお金がない。その中で海外青年協力隊員として渡米ができる事を知り、条件の英検一級も目に入らぬまま応募。面接で自分の熱い夢(アメリカへ行きたい)を語り、見事合格。その後、双海町地域振興課長、教育長を経て、現在伊予市双海町で「人間牧場」を開いておられます。地域振興課長時代に、瀬戸内海を一望できる双海町の「夕日」が素晴らしいことに着目。町の再生は「夕日」しかないと自分を信じ、仲間づくりを進めて、中心部の海岸一帯をまちづくりの拠点にされました。特産品を販売する一方、海に最も近い道の駅などと銘打って「コンサート」をやるなど、地域のイメージを高めるイベントを次々に実行されました。そして見事、過疎の町をよみがえらせたそうです。さらには、地域のおばちゃん達に「じゃこてんでヨーロッパに行こう!!」とはっばをかけ、今年もヨーロッパに行かれたそうです。

若松さんの成功の秘訣は、

① 仲間をつくること ② 感動すること ③ 夢を持つこと ※若松さんの合言葉は、「夢はターゲット!!」だそうです。アツという間の90分でしたが、若松さんの熱い語り口に、エネルギーのようなものがふつふつと湧いてきました。詳しくは、「若松進一ネット」<http://yuuhi.jp/>をご覧ください。



〈大懇親会〉

第1分科会では、『「食」を通して子どもが育つ〜おやじのスーパーレシビ〜』と題して、講師に料理研究家&食育アドバイザー、作曲家、テレビでも有名な中村和憲さんと一緒におやじ達が子どもと一緒に作る料理を実習形式で学びました。

また、第3分科会は、全国各地のおやじの会の活動発表がありました。「おやじの会活動の神髄とは」と題して、小金井第三小学校おやじの会(東京都)の「放課後カフェ」、福岡おやじコミュニティの「福岡市おやじサミット」、松山市の石井おやじの会の「きつずニア石井」の活動等報告がありました。私はこの中で、小金井三小おやじの会さんの「放課後カフェ」に興味を持ちました。こちらの会は、小学校〜中学校9年間一貫して、子どもたちと関わっておられるおやじの会です。現在は、中学生の居場所づくりに「放課後カフェ」を始められたそうです。第3分科会には参加していないので、ぜひ来年は東京大会に参加して、もっともっと情報交換したいと思いました。

当然、この後の大懇親会は大盛況!! 熱い熱いエネルギーを充電して帰ってきました。是非皆さんも、平成29年1月8日、東京大会へ一緒に参加しませんか。最後になりましたが、地域振興、公民館活動、青少年育成、子育て支援等、若松進一さんのお話を是非お聞きになることをお勧めし、全国大会の報告とします。

松山で全国おやじサミット

200人参加、役割熱く語り

父親たちが地域に根ざした活動を積極的に進めようという団体「おやじの会」会員らが交流する第13回全国おやじサミット(山陰)が22日、松山市栗原町の市青少年センターであった。県内での初開催。13都道府県の約200人が「失敗してもいい。おやじの懸命な姿を見せよう」笑顔で笑顔をつくる。と子育てや地域での「おやじ」の役割を熱く語り合った。(成松秋穂)

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」

「おやじの会」は父 作る任意団体。参加者が親らが小学校(以下)は「色」を通して子供が育つ。「人間牧場」主がおやじを断る「一生社会に貢献できる人材〜」



# 中国・四国地区社会教育研究大会

11月19日(木)、20日(金)に山口市で中国・四国地区社会教育研究大会が開催されました。今年度は分科会においてグループ協議の手法を取り入れられました。大きな研究大会では実践発表と質疑応答というやり方が多いですが、小グループで協議することで、皆さんたくさんの思いを語ることが出来たと思います。鳥取県からは約30名の参加がありました。

初日のパネルディスカッションでは、地域と学校との具体的な協働の必要性、「社会的包摂」がこれからのキーワードになる、などパネリストの様々な実践を聞くことができました。学校は敷居が高いと思っている人はまだまだ多いようです。



山口県の役員さんに感謝です。



パネリストの熱い思いを聞きました。

2日目は地域づくりがテーマの分科会に参加しました。島根県邑南町市木公民館の実践発表を聞き、その後、グループで意見交換しました。行政の役割や次世代育成についての話題が中心でした。

## ちゅうぶくん

～サプライズ～



実践発表「市木美(うま)し里 楽学プロジェクト」市木地区は世帯数210戸、人口473人、高齢化率43%。地区の歴史や文化を後世に残そうと自治会が中心となり「市木カルタ」を作成した。そのカルタの活用をきっかけに「ふるさと学芸員養成塾」を立ち上げ、文化継承に活躍してもらう人材育成を行っている。そこで学んだ人が、学校の地域探検、保育園の遠足、保護者への伝統料理教室など活躍の場を広げている。

学びの循環を意識した取組でした。



### 【あしがき】

この前、初めて「雪虫」に遭遇しました。この虫、実は北海道のタクシー運転手さんに、「雪が降る1週間くらい前に大量発生して、フロントガラスを真っ白にする」と教えてもらっていました。今までに見たことはなく、半信半疑だったのですが、実際に見ると、白い綿毛のようなものをおしりにつけ、ふわふわ飛ぶかわいらしい虫でした。簡単に手で捕まえることができ、娘たちはよるこんで雪虫を追いかけていました。そこで妻が一言、「それカメムシの仲間だよ」。一瞬、動きが止まりましたが、またキャアキャア言って追いかけていました。たくましい娘たちです。(岸本)

中部教育局 社会教育担当 岸本隆治

電話 0858-23-3253

FAX 0858-23-5203

E-mail [kishimoto-r@pref.tottori.jp](mailto:kishimoto-r@pref.tottori.jp)

